

2020年12月9日

新型コロナウイルス感染防止のため学校生活も変化を余儀なくされる中で、改めて子どもたちの素晴らしさに気づかされます。これからの世界に光をもたらしてくれる子どもたちは、いつでもどこでも学ぶ意欲、学び続ける能力を持っています。すべての子どもたちの命の輝きは、私たちの大きな希望なのです。

七日の月曜朝礼では次のような話をしました。



(手話で) 皆さん おはよう ございます。

世界中でコロナウイルスによる病気にかかる人が大勢います。だれも病気にかかりたいと思う人はいません。かかってしまった方々が早く治られるように皆さんで祈りましょう。

立教小学校では、皆さんの健康を守るために、マスクをしたり、手洗い、消毒をしたりしています。向かい合って話をしたり、大きな声を出したりしないように気をつけています。たくさんの方が集まることを防ぐために、多くの行事も中止になってしまいう中で、皆さんはよく先生方の話を聞いて、頑張っていると思っています。

特に、六年生の皆さんにとっては、小学校最後の様々な行事が中止となり、残念に思っていることでしょうか。今までなら六年生の皆さんは縦割り班のリーダーとして、給食の時間、外朝礼の時間に下の学年の弟たちの面倒を見てくれました。先生方と共に一年生の着替えを手伝ったり、一緒

に遊んだりして、お世話をしてもらっていたはずです。クラブ活動や委員会活動、児童会の活動などで中心となり、立教小学校をもっとよい学校にしようと考え、話し合い、行動してくれています。それらが、みなでできない状況となっています。しかし、そんな中、先生方から六年生の皆さんの学びの様子を伺い、とても安心しました。皆さんの学びに向かう気持ち、決して弱くなっていないことを知り、うれしく思っています。なかでも、全員の自学ノートの取り組みと意見文を読ませてもらい、皆さんの学びが確実に広がり、深まっているとよくわかりました。

六年生の皆さんの自学ノートは、五年生の時から見せてもらっています。一人ひとりみな違って、一つとして同じ内容のものはありません。調べ学習などは大変程度が高く、私も読みながらたくさん学ぶことができました。テスト前の自学では、一人ひとり自分から苦手な内容を克服しようと繰り返し取り組んでいる様子が伝わってきて、心の中で頑張ってくださいと応援しました。新聞記事から、自分なりに調べたり考えたりしている人も多くいました。また、仲間の自学ノートを見て、互いに学び合っている様子は、これこそ「学校で学ぶ」ということだと感心しています。仲間の自学ノートに影響されて学びを広げたり、深めたりしている人もきつと多いことでしょうか。

六年生全員の意見文を読みながら、一人ひとりがテーマに沿ってしっかり考えている様子が伝わってきました。間違いなく皆さんの学びが進んでいることがはつきりとわかりました。「オリンピックのこと」「環境を守ること」「新型コロナウイル

スのこと」そのほかテーマは様々でした。

どの意見文も自分の考えを読む人にわかってもらえるように言葉を運び、文章を書く時の約束に従って文字にするという、複雑な作業がしっかりとできていました。学びの深まりは言葉の深まりからその様子がわかります。それまでの学びを生かし、自分で精いっぱい考えている皆さんの学びはとても立派です。

五年生以下の皆さんも、六年生のお兄さんたちのように自分の学びを自分で作り上げ、互いのよさを見つけ合い、学び合い、自分の考えを発表して人に役立つ学びを進めましょう。

六年生の皆さん、皆さんの学びに自信をもって卒業まで進めてください。大きな期待をもって応援しています。

(手話で) みなさん 一緒に がんばりましょう。お話を 終わります。



どのような環境にあっても、すべての子どもは学ぼうとする強い意欲と、仲間とつながろうとする温かな気持ちを持っていると子どもたちから教えられることができました。幼児期に培われた「言葉と筋道立てた考え方」を洗練させていくとともに、一人ひとりの学びに敬意を払い、意欲を引き出し、支援し、つなげていくことがこれからの学校の姿だと考えています。これからも一人ひとりの個性的な学びを尊重する学校をめざしてまいります。

(立教小学校校長 佐々木 正)